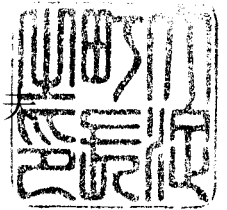




大建第 936 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 金井 道夫 殿

大淀町長 森 下 征 夫



今後の道路行政についての意見・提案書の提出について

(回答)

平成20年9月19日付け国道企第37号で、依頼がありました
標記の件につきましては、別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

奈良県大淀町

大淀町は、世界遺産登録された吉野・大峰地域等を抱える吉野郡の玄関口に位置し、長年、交通の要所として発展してきました。このような背景から町内には国道169号線・国道309号線が整備されており、吉野郡内の交通結節点として位置づけられています。

さて、近年の道路行政におきましては、道路特定財源の一般財源化問題等ますます厳しい状況でございますが、地方部・山間部の一自治体と致しましては、様々な観点から、社会資本整備として必要不可欠なものであります。世界遺産にも登録された吉野郡への交通量増加に対するアクセス強化はもとより、大淀町におきましても、経済・流通の観点から、京奈和道及び南阪奈道へのアクセスも兼ね備えての高取バイパスの早期完成・整備は、大いに期待を抱いているところであり、ご要望させていただいてる次第であります。

地方部におきましては、幹線道路においても、生活道路としての意味合いが非常に強く、そこに観光地へのアクセスも加わりますので、日常的なものに加え、季節的に非常に長い渋滞を引き起こしております。また、緊急輸送道路等防災関係に位置づけられている場合が多く、結果的に1つの道路に対して多面的要素が重複し、また代替となる生活道路が少ないのが現状であります。

このように、地方部が抱える諸問題と長期的な人口動向、経済政策、都市・交通・観光政策、少子高齢化政策、防災政策との整合・融合を図った道路政策を考えた場合、必ずしも統一的・一元的な道路政策というわけにはいきません。

都市部・地方部もしくは平野部・山地部では、道路という役割自体が根本的に違うと思われまして、特に地方・山間部におかれましては、道路整備に対する期待感は、未だ非常に高いものとなっております。国際競争力の向上や中長期的な経済効果等マクロな視点での道路行政も大変重要でありますが、地方の諸問題を鑑み、住民生活の質の向上といったミクロな視点での道路行政も、今後必要ではないかと考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－1道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

奈良県大淀町

○現状 幹線道路においても、生活道路としての意味合いが非常に強く、そこに観光地へのアクセスも加わるので、日常的なものに加え、季節的に非常に長い渋滞を引き起こしている。 緊急輸送道路等防災関係に位置づけられている場合が多く、結果的に1つの道路に対して多面的要素が重複し、また代替となる生活道路が少ない。 幹線道路においても、児童の通学路になっている場合があり、歩道の設置が必要であるが、スペース等の諸問題もあるが、歩道設置が必要である。 都市部・地方部もしくは平野部・山地部では、道路という役割自体が根本的に違い、特に地方・山間部におかれましては、道路整備に対する期待感は、未だ非常に高いものとなっている。	○課題 予算が少ないなか、現状を打破するためには、やはり効率的に生活道路を整備・修繕等をおこなう必要がある。 より効率的・計画的に整備するためにも、舗装厚等道路規格を地域に沿ったかたちで見直す必要性があるのではないかと。 交通量を分散させる道路施策やソフト事業も含めた現状に沿った歩道整備・政策が必要。
---	---

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②-2 地域の目指すべき将来像

奈良県大淀町

暮らしの安心・安全、防災、地域産業・観光の支援等さまざまな面からみても、ますますソフト事業に対する考え方が重要であり、限られた予算の中で、ソフトとハードの両面から効率的に道路行政を行うことにより、住民生活の質のより一層の向上が進められるのではないかと考える。